

期待通り、
予想以上。PTW

新卒2年目の挑戦 テスト自動化への歩み

2025年6月27日

ポールトゥウィン株式会社 QAソリューション事業部

長坂明俊



PTW ポールトゥウィン株式会社

©Pole To Win, Inc. All Rights Reserved.

INDEX

自己紹介

自動テストとの出会い

実践の歩み

直面した課題

ChatGPTに聞いてみた

今後の展望





長坂明俊

Akitoshi Nagasaka

社会人歴

2年目

趣味

筋トレ、ラジオ、ゲーム

担当案件

車のサブスクに関するWeb検証

座右の銘

清濁併呑（良いも悪いも全て受け入れる）

自動テストとの出会い





Autify

- ✓ 当時担当した案件で導入されていた
- ✓ 回帰テスト（リグレッションテスト）の自動化に使用
- ✓ ノーコードで直感的に操作できた点が印象的

この経験が、自動テストに関心を持つきっかけになった

MagicPod、Autify、mablなどの自動化ツール研修を実施

初級～上級者向けまで段階的なカリキュラムを用意



研修を通じて得られた気づき

- ・ シナリオの準備が複雑なものほど、AIによるテスト結果の判定ミスが少ない
- ・ シナリオの準備が複雑なものほど、プログラミングの知識が必要
- ・ シナリオの準備が感覚的にできるものほど、シナリオの修正が簡単

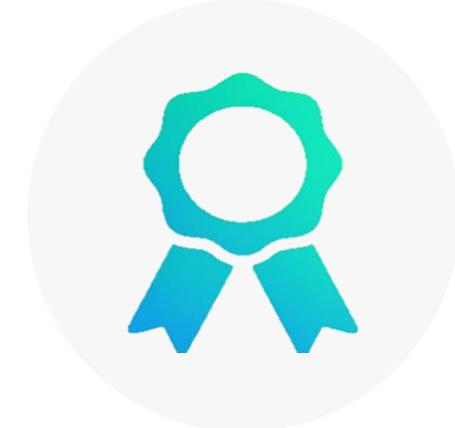




案件内でテスト自動化ツールの
知識を持った人材が少ない

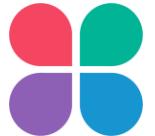


知識を持った人材を
育成する必要がある



日々の取り組みを評価され、
任せてもらうことに！

実践の歩み



01



事前準備

使用ツールの機能や構成を確認し、
最低限の知識レベルを整える

02



シナリオ作成方法

操作フローに沿って、
テストシナリオを構築する手順を理解

03



実行後の処理

テスト結果の確認方法や
結果の修正手順を把握する

テスト自動化ツールで使用する
アカウント作成方法



シナリオ作成時に必要な
基本操作



シナリオの複製方法



他ツールにも触れたことで広がった視野



研修での気づき

担当案件では使用していない MagicPod や mabl にも研修を通じて触れる機会があり、各ツールの特長や思想の違いに触れられた。

“違い”に気づく目線

「ツールごとの得意分野」や「操作設計の違い」に気づいたことで、目的に応じて最適なツールを選ぶ視点が育まれたと実感。

今後の活かし方

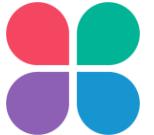
今後、別案件に携わる際や新しいツール導入に関わる場面でも、この比較経験が大きな武器になると感じている。

担当案件の自動テスト実施ルールを把握！

お客様と仕様や実施ルール、環境・実行条件の整理など

綿密なコミュニケーションを取り、リグレッションテストを実行中！

直面した課題



技術的な課題に直面して、乗り越える必要があったこと



自動化ツールの理解不足

- ・ 「そもそもどうやって自動化するのか」「どこまでできるのか」が曖昧な状態だった。
- ・ 実行ツールの仕様や操作の流れを**体系的に理解する必要**があった。



テスト対象システムの理解不足

- ・ 自動テストの対象となる画面やシナリオを、**構造レベルで把握できていなかった**。
- ・ 「どの操作にどの設定が必要か」「AIにどう指示すべきか」が不明確で、**正確なシナリオ作成に支障**。



プログラミングスキルの不足

- ・ テスト失敗時に、**修正が必要なコードの意味が理解できず**、対応に時間がかかってしまった。
- ・ **自身でコードの意図を読み取れるようになる**ことが急務だった。

業務・プロセス上で感じたリアルなつまずき



テスト失敗時の原因切り分けが難しい

- ・ バグによるものか、テスト自体の不備か**判断がつきにくい場面**がある。
- ・ この判断には、仕様理解や過去の知見など**「経験に基づいた判断力」**が不可欠。



テスト更新作業に追われがち

- ・ 仕様変更やUI変更などにより、シナリオの更新頻度が高くなり、**日々の業務を圧迫**。
- ・ 更新作業に時間を取りられ、**本来集中したい検証や改善にリソースが割けない**状況も。

チーム内コミュニケーションで感じた壁



自分の判断に自信が持てず、独力で進めづらい

- ・業務に対する不安感があり、「これで合っているのか?」という迷いが常につきまとう。
- ・**自信のなさ**から、作業に時間がかかったり、確認の回数が増えたりする場面も。

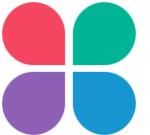


テストの状況説明に手間がかかり、気軽に質問しづらい

- ・失敗の報告や質問には「どのシナリオの何番」「成功時との比較」など説明が多く必要。
- ・結果的にバグチケットのような**情報量の相談**になりがち。

「聞くレベルの質問かな?」と考え、聞きづらいことがあった。

ChatGPTに聞いてみた





プログラミングスキルが不足している・・



実践的なサンプルを模倣しつつ学習しましょう。

YouTubeやUdemy、社内のペアプログラミングなどを活用して
スキルアップするのがおすすめです。



はい、頑張ります・・





テストの更新作業に追われてしまう・・



共通するテストロジックやデータは、関数やモジュールとして再利用可能にしましょう。

そうすることで、修正すべき箇所を絞り込みやすくなります。UIテスト（E2E）に

過度なロジックを詰め込まず、ビジネスロジックはAPIやユニットテストに分けて設計しましょう。

結果として、仕様変更にも強い構造が実現できます。



ムズカシソウ・・



テストに関する質問が伝えづらい・・・



「前提 → 問題 → 確認したいこと」 の順に整理して質問すると伝わりやすいです。

「恥ずかしい質問もOK」という雰囲気づくりも大事。

テスト更新の効率化と質問しやすい環境はセットで改善できます。

これにより、スピードも品質もぐっと向上します！



アドバイスまでいただき、ありがとうございます・・・



現在実践していること



質問する際に画面キャプチャを添えるよう徹底

状況を正確に伝えることで、
やり取りをスムーズにする工夫



「恥ずかしさよりも学ぶ姿勢」を優先

聞くことをためらわず、
覚悟を持って成長に向き合う



今後取り組むこと



テストデータセットへの理解深化

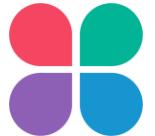
実務の理解やテストの品質向上につなげる



プログラミングの基礎力向上

テスト設計力や
不具合再現の精度向上を目指す

今後の展望



気づきは、自分の変化のきっかけになり、誰かの助けにもなる

ツール比較で得た視点



複数の自動化ツールを試したことでの
機能差や課題感を実感できた。
ツール選定や運用に活ける知見。

会話による理解深化



特に経験者からの実例や
背景を聞くことで、文脈理解が
進みやすく効率的だった。

足跡を残す価値



未経験者にとって、自分のメモや
手順が役立つことを実感。
ナレッジ共有の意義を感じた。

コード理解 × 自動化知識 × ナレッジ展開 —
“個人の成長がチームに広がる”ことを意識して取り組んでいきたい。

01

まずは「コードを読める力」を優先的に身につける
— テストや仕様理解の解像度を上げるための土台として

02

自動化ツールに対する理解を深める
— より効率的なテストシナリオの作成や提案にチャレンジする

03

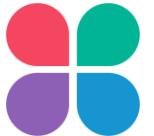
未対応領域の自動化にも踏み込む
— まだ自動化されていない領域のテストシナリオ作成にも取り組み、知識と経験を蓄積

04

周囲にも良い影響を与えられる存在になる
— 自分だけで完結せず、周囲の人の理解も深められるようなナレッジ共有を目指す



APPENDIX



商 号 ポールトゥーウィン株式会社 (Pole To Win, Inc.)

代 表 代表取締役 CEO 橘 鉄平 代表取締役 COO 志村 和昭

住 所 本社：愛知県名古屋市千種区今池 1-5-9 新宿オフィス：東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 14F

設 立 1994年 1月 20日

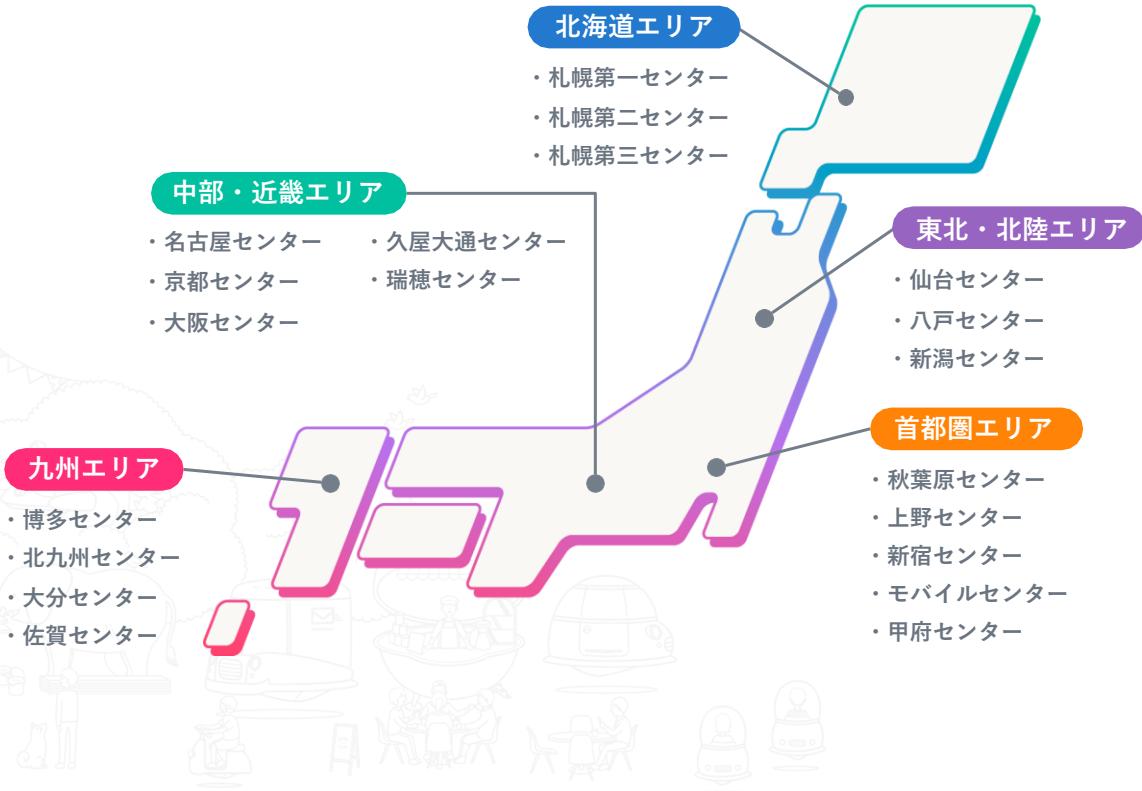
資 本 金 3,000 万円

従業員数 4,977 名（2024 年 4 月現在）

事 業 デバッグ事業・ネットサポート事業・ソフトウェアテスト事業

加盟団体 一般社団法人 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会 / 一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会
一般社団法人 日本インタラクティブ広告協会 / 公益社団法人 日本広告審査機構 他

全国 **20** 拠点
約 **5,000** 名
が在籍



ご清聴ありがとうございました

Thank you for your kind attention.





お問い合わせ



RECRUIT

<https://recruit.ptw.inc/>



CORPORATE

<https://www.ptw.inc/>



SERVICE

<https://www.service.ptw.inc/>



資料請求・サービス詳細・お見積依頼など、
お気軽にお問い合わせください。

TEL 03-6625-8331

MAIL marketing@ptw.inc